



まちの



生ごみ堆肥の無償還元が、5月13日置戸町の堆肥供給センターで行われました。町内で排出された生ごみは、同センターに持ち込み、堆肥化し、年2回みなさんに還元しています。今回、みなさんの協力できた堆肥は、約45トン。この日は朝から正午まで152人が詰めかけ、肥料袋などに詰めていました。

**生ごみ堆肥完成
約45トンを
無償還元**



にぎわった「こどもまつり」

マジックなどで歓迎 訓小・居小で1年生迎える会

訓子府小学校の1年生を迎える会が、4月27日、居武士小学校の迎える会は5月1日にそれぞれ開かれました。訓小の新1年生は41人、居小は4人で、それぞれ上級生が合唱などで歓迎したほか、マジックの披露、一緒にゲームなどをして楽しみました。



居武士小学校



訓子府小学校

5月5日のこどもの日にちなんだ「こどもまつり」が、4月28日くんねっぷ歴史館で開かれました。町内の人形劇サークル「ちゅー吉一座」の「あかずきんちゃん」上演のほか、輪投げやヨーヨー釣りのコーナーも設けられ、大勢の子どもたちが楽しんでいました。

わだい



開拓記念日のつどいで 町の発展を誓う

開拓記念日のつどいが、5月8日に約90人が参加して開かれました。明治30年のこの日、訓子府を開拓した高知県の北光社移民団が大谷地区に入植しました。先人の労苦に感謝するため、毎年つどいが開かれています。居武士小学校校庭にある旗頌碑前と中央公園内の開基百年記念碑前でそれぞれ行われました。旗頌碑前では、居小児童会長の古谷彩夏さんが「訓子府町を今以上に住みやすい町にするために、みんなががんばっていきます」と誓いの言葉を述べました。

開基百年記念碑前



旗頌碑前

まちのわだい



居武士小学校

春の遠足は、居武士小学校が5月11日、あさひ・ひので保育園が16日、くんねっぷ保育園が23日にそれぞれ行われました。居小の遠足は、時折小雨が降る肌寒い中で行われましたが、児童は元気いっぱい目的地をめざしました。保育園の遠足は好天に恵まれ、レクリエーション公園の芝生の上で弁当を食べるなど、楽しい1日を過ごしていました。

遠足シーズン
子どもたち元気に目的地へ

あさひ・ひので保育園



くんねっぷ保育園



広い牧場に
約560頭入牧
のんびり草を食べ



町共同利用模範牧場の一斉入牧が、5月22日と23日に行われました。両日とも朝から多数の乳牛が、トラックに揺られ牧場入り。町外を含めて約560頭の乳牛が広々とした牧場に放され、のんびりと草を食べていました。

図書館から 新しい本が入りました

ダヤン、タシルに帰る

池田 あきこ/作

絵本



タシルの街は救えるのか。ダヤンの「務め」とは。不思議の国「わちふいーるど」創生の秘密を解き明かす大長編物語、ついに完結。

夜回り先生のねがい

水谷 修/著

一般書



「子どもたちにきちんと伝えておきたい」。夜回り先生が痛みとともにつづった、渾身の最終章。すべての子どもたちに思いが届きますように。

楊令伝 1 玄旗の章

北方 謙三/著

小説



梁山泊陥落から3年。残党狩りが過酷を極める中、梁山泊軍の再起はあの男・楊令の戦線復帰にかかっていた。北方水滸伝、待望の続編。